



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月24日

上場会社名 株式会社 不二家
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 河村 宣行
 (氏名) 佐野 正樹
 TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	25,715	4.8	953	△28.5	1,109	△27.8	684	△21.4
2022年12月期第1四半期	24,533	—	1,333	42.0	1,536	31.5	870	42.5

(注)包括利益 2023年12月期第1四半期 1,034百万円 (△32.8%) 2022年12月期第1四半期 1,539百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	26.54	—
2022年12月期第1四半期	33.79	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
 このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第1四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 なお、当該会計基準等を除外した実質の増減率は13.9%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	80,394	59,381	68.4
2022年12月期	83,712	59,165	65.6

(参考)自己資本 2023年12月期第1四半期 54,995百万円 2022年12月期 54,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—				
2023年12月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	4.9	2,000	△7.4	2,400	△13.6	1,300	△14.2	50.43
通期	106,000	5.4	5,000	15.4	5,800	4.6	3,400	0.7	131.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	25,784,659 株	2022年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	8,629 株	2022年12月期	8,602 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	25,776,035 株	2022年12月期1Q	25,776,148 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～3月31日）におけるわが国の経済は、政府のウィズコロナに向けた政策による景気の持ち直しが期待される中、原材料価格、エネルギー価格の高騰等の影響もあり厳しい状況となりました。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスを提供できるよう、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、257億15百万円（対前年同期比104.8%）と、単体菓子の好調な売上もあり、前年同期の実績を上回ることができました。利益面では、前期から続く原材料価格等の高騰に卵価格の急騰が加わり、3月に菓子製品の価格の見直しを行い収益性の改善をはかりましたが、営業利益は9億53百万円（対前年同期比71.5%）、経常利益は11億9百万円（対前年同期比72.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億84百万円（対前年同期比78.6%）と、前年同期の実績を確保するまでには至りませんでした。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2023年1月1日から 2023年3月31日まで		2022年1月1日から 2022年3月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業		百万円	%	百万円	%	%	百万円
	洋菓子	6,364	24.7	6,472	26.4	98.3	△108
	レストラン	1,352	5.3	1,033	4.2	130.8	318
	計	7,716	30.0	7,506	30.6	102.8	209
製菓事業	菓子	15,992	62.2	15,061	61.4	106.2	930
	飲料	1,183	4.6	1,209	4.9	97.8	△26
	計	17,175	66.8	16,271	66.3	105.6	904
その他		823	3.2	755	3.1	109.0	68
合計		25,715	100.0	24,533	100.0	104.8	1,182

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、洋菓子チェーン店にて産地・品種にこだわった原料を使用した『厳選素材製品』や「プレミアムショートケーキ（国産苺）」などの『高付加価値製品』、さらに毎月期間限定で華やかなケーキ『宝石箱シリーズ』を展開し、常に変化のある品揃えによりお客様に選ぶ楽しさを提供してまいりました。同時に、幅広い年齢層に向けた販売促進活動を行い拡販につとめました。そのような中、納品店の開発は順調に推移しましたが、不採算、後継者不在等のフランチャイズ店の閉鎖による店舗数減少の影響もあり、売上高は前年同期の実績を確保するまでには至りませんでした。なお、当第1四半期連結会計期間末の不二家洋菓子店の営業店舗数は、950店（前期差12店減）となっております。

広域流通企業との取り組みについては、福岡県産あまおう苺のジャムを使用した「あまおう苺クリームシュー」など厳選素材を使用し、且つ生産性の高いラインで製造できる製品やマカロン、トゥンカロンなど当社の技術力を活かした製品の提案を積極的に行いました。

レストラン事業では、好調なケーキ類の拡販やメニュー改善による客単価アップに加え、美化改装に取り組む中、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた客足の回復もあり、売上高は前年同期の実績を大幅に上回る13億52百万円（対前年同期比130.8%）とすることができました。

(株)ダロワイヨジャパンでは、積極的な販売促進活動のもと、主力製品であるマカロンの販売が好調に推移しており、前年同期を上回る売上とすることができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は77億16百万円（対前年同期比102.8%）となりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子においては、前期に生産能力を増強した「カントリーマアム チョコまみれ」や「ホームパイ チョコだらけ」のさらなる拡販に取り組みました。また、発売55周年を迎えた『ホームパイ』シリーズのキャンペーンによる販売促進や「ペロペロチョコ」をはじめとするアンパンマンシリーズの好調な売上もあり、前年同期を上回る売上とすることができました。

原材料やエネルギー価格の高騰への対策としては、生産性向上や製品外装の薄肉化など包装資材の削減に取り組むとともに、3月には製品の価格や内容量の見直しも行いました。

飲料については、新製品「ペコスカッシュ白桃」の発売もあり売上高は11億83百万円（対前年同期比97.8%）となりました。

不二家（杭州）食品有限公司では、現地での新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により1月の業績は前年同期の実績を大きく下回りましたが、2月以降は現地経済の回復もあり、業績は急速に回復しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は171億75百万円（対前年同期比105.6%）となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び(株)不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は、8億23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は338億4百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ32億94百万円の減少となりました。固定資産は465億89百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。この結果、総資産は803億94百万円で前連結会計年度末に比べ33億18百万円減少いたしました。

また、流動負債は175億80百万円で、主に支払手形及び買掛金やその他に含まれる設備支払手形の減により前連結会計年度末に比べ34億78百万円減少いたしました。固定負債は34億32百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。この結果、負債は合計210億12百万円で、前連結会計年度末に比べ35億34百万円減少いたしました。

純資産は593億81百万円で、主に為替換算調整勘定や非支配株主持分の増により前連結会計年度末に比べ2億16百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月13日に発表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,385	14,379
受取手形及び売掛金	15,827	10,731
商品及び製品	4,113	4,372
仕掛品	532	641
原材料及び貯蔵品	3,339	3,062
その他	1,106	816
貸倒引当金	△206	△198
流動資産合計	37,099	33,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,933	10,915
機械装置及び運搬具（純額）	13,974	13,966
土地	6,402	6,402
リース資産（純額）	611	584
その他（純額）	1,264	1,224
有形固定資産合計	33,187	33,094
無形固定資産		
その他	1,908	1,930
無形固定資産合計	1,908	1,930
投資その他の資産		
投資有価証券	6,086	6,096
繰延税金資産	1,318	1,469
敷金及び保証金	2,007	2,015
退職給付に係る資産	346	327
その他	1,884	1,780
貸倒引当金	△125	△124
投資その他の資産合計	11,517	11,565
固定資産合計	46,613	46,589
資産合計	83,712	80,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,437	7,240
短期借入金	960	960
リース債務	217	215
未払金	2,835	2,592
返金負債	2,060	1,887
未払法人税等	858	519
賞与引当金	432	1,006
その他	5,256	3,158
流動負債合計	21,059	17,580
固定負債		
リース債務	321	291
繰延税金負債	234	219
退職給付に係る負債	2,012	2,008
役員退職慰労引当金	62	63
その他	857	849
固定負債合計	3,488	3,432
負債合計	24,547	21,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	31,243	31,154
自己株式	△16	△16
株主資本合計	53,567	53,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	147
繰延ヘッジ損益	△26	△14
為替換算調整勘定	1,040	1,185
退職給付に係る調整累計額	197	198
その他の包括利益累計額合計	1,350	1,516
非支配株主持分	4,247	4,386
純資産合計	59,165	59,381
負債純資産合計	83,712	80,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	24,533	25,715
売上原価	15,667	16,885
売上総利益	8,865	8,830
販売費及び一般管理費	7,532	7,877
営業利益	1,333	953
営業外収益		
受取利息	26	11
受取配当金	0	36
持分法による投資利益	105	69
保険解約返戻金	26	42
助成金収入	30	-
その他	31	32
営業外収益合計	220	192
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	15	35
営業外費用合計	17	37
経常利益	1,536	1,109
特別利益		
固定資産売却益	0	-
関係会社株式売却益	-	76
特別利益合計	0	76
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	4	5
災害損失	3	-
段階取得に係る差損	36	-
支払補償費	-	69
特別損失合計	44	75
税金等調整前四半期純利益	1,491	1,109
法人税、住民税及び事業税	404	475
法人税等調整額	77	△170
法人税等合計	481	304
四半期純利益	1,009	804
非支配株主に帰属する四半期純利益	138	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	870	684

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,009	804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	15
為替換算調整勘定	578	201
退職給付に係る調整額	△14	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	12
その他の包括利益合計	529	229
四半期包括利益	1,539	1,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,238	850
非支配株主に係る四半期包括利益	300	184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	6,472	—	6,472	—	6,472	—	6,472
レストラン	1,033	—	1,033	—	1,033	—	1,033
菓子	—	15,061	15,061	—	15,061	—	15,061
飲料	—	1,209	1,209	—	1,209	—	1,209
その他	—	—	—	710	710	—	710
顧客との契約から生じる収益	7,506	16,271	23,777	710	24,488	—	24,488
その他の収益	—	—	—	44	44	—	44
外部顧客に対する売上高	7,506	16,271	23,777	755	24,533	—	24,533
セグメント間の内部売上高	0	141	141	118	260	△260	—
計	7,506	16,413	23,919	874	24,794	△260	24,533
セグメント損益(△は損失)	△144	2,350	2,206	146	2,353	△1,020	1,333

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,020百万円には、その他の調整1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,022百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	6,364	—	6,364	—	6,364	—	6,364
レストラン	1,352	—	1,352	—	1,352	—	1,352
菓子	—	15,992	15,992	—	15,992	—	15,992
飲料	—	1,183	1,183	—	1,183	—	1,183
その他	—	—	—	782	782	—	782
顧客との契約から生じる収益	7,716	17,175	24,891	782	25,674	—	25,674
その他の収益	—	—	—	41	41	—	41
外部顧客に対する売上高	7,716	17,175	24,891	823	25,715	—	25,715
セグメント間の内部売上高	0	111	111	119	230	△230	—
計	7,716	17,286	25,003	943	25,946	△230	25,715
セグメント損益(△は損失)	△45	1,907	1,861	167	2,028	△1,074	953

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,074百万円には、その他の調整4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,078百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。